

大学院生への経済支援・研究支援・ キャリア支援について

—博士後期課程学生への支援を中心として—

京都大学大学院工学研究科長・工学部長 立川康人

京都大学



博士後期課程学生に対する支援

令和3年度から博士後期課程学生に対する支援が大幅に拡充されています。留学生、社会人を除いた修士課程からの博士後期課程進学者は約30,000名です。政府は生活費相当の支援を拡充し、それらの博士学生の半数以上に、年額180万円以上の公的支援を実施しています。

これらの支援を含めて、博士後期課程学生に対する支援の最新情報をお伝えします。

- 経済的支援
 - ✓ 生活費支援（国、大学、民間等の支援団体）
 - ✓ 授業料免除（大学）
- 研究費支援
 - ✓ 研究費（国、大学、民間等の支援団体等）
 - ✓ 国際会議参加（大学、民間等の支援団体等）
 - ✓ 留学（国、大学、民間等の支援団体等）
- 生活支援（大学等）
- 就職支援（大学等）

八大学工学系学生の動態調査（2023年）

調査内容：

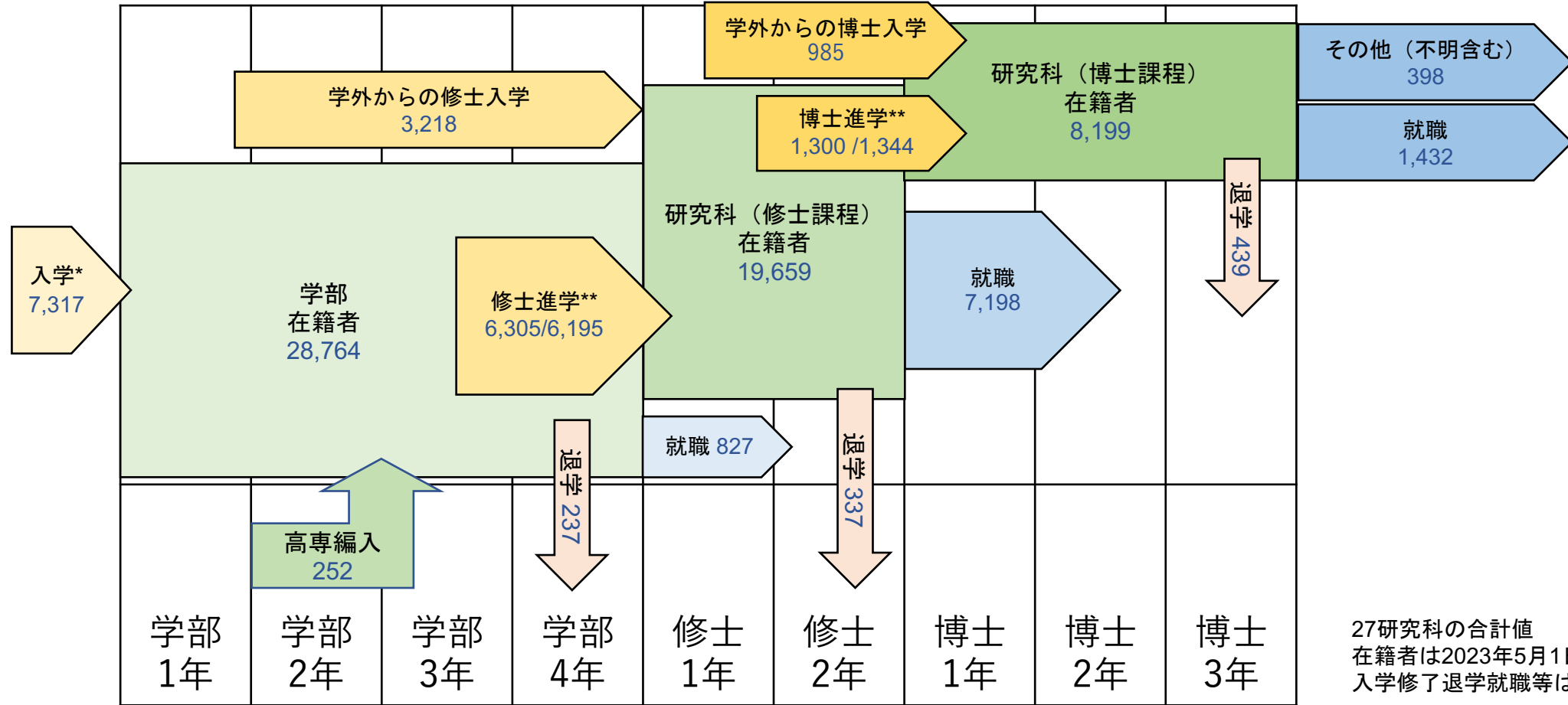
- 研究分野ごとの学生の進路
- ダイバーシティ促進に関する取り組みと効果
- 博士学生支援に関する取り組みと効果

調査対象：

	学部	大学院
北海道大学	工学部	工学研究院, 総合化学院, 情報科学研究院
東北大学	工学部	工学研究科, 情報科学研究科, 環境科学研究科, 医工学研究科
東京大学	工学部	工学系研究科, 情報理工学系研究科, 新領域創生科学研究科
東京科学大学	工学院, 生命理工学院, 物質理工学院 情報理工学院, 環境・社会理工学院	工学院, 生命理工学院, 物質理工学院 情報理工学院, 環境・社会理工学院
名古屋大学	工学部	工学研究科, 情報学研究科
京都大学	工学部	工学研究科, エネルギー科学研究科, 情報学研究科
大阪大学	工学部, 基礎工学部	工学研究科, 基礎工学研究科, 情報科学研究科
九州大学	工学部, 芸術工学部	工学研究院, 芸術工学研究院, システム情報科学研究院, 総合理工学研究院

八大学工学系学生の動態

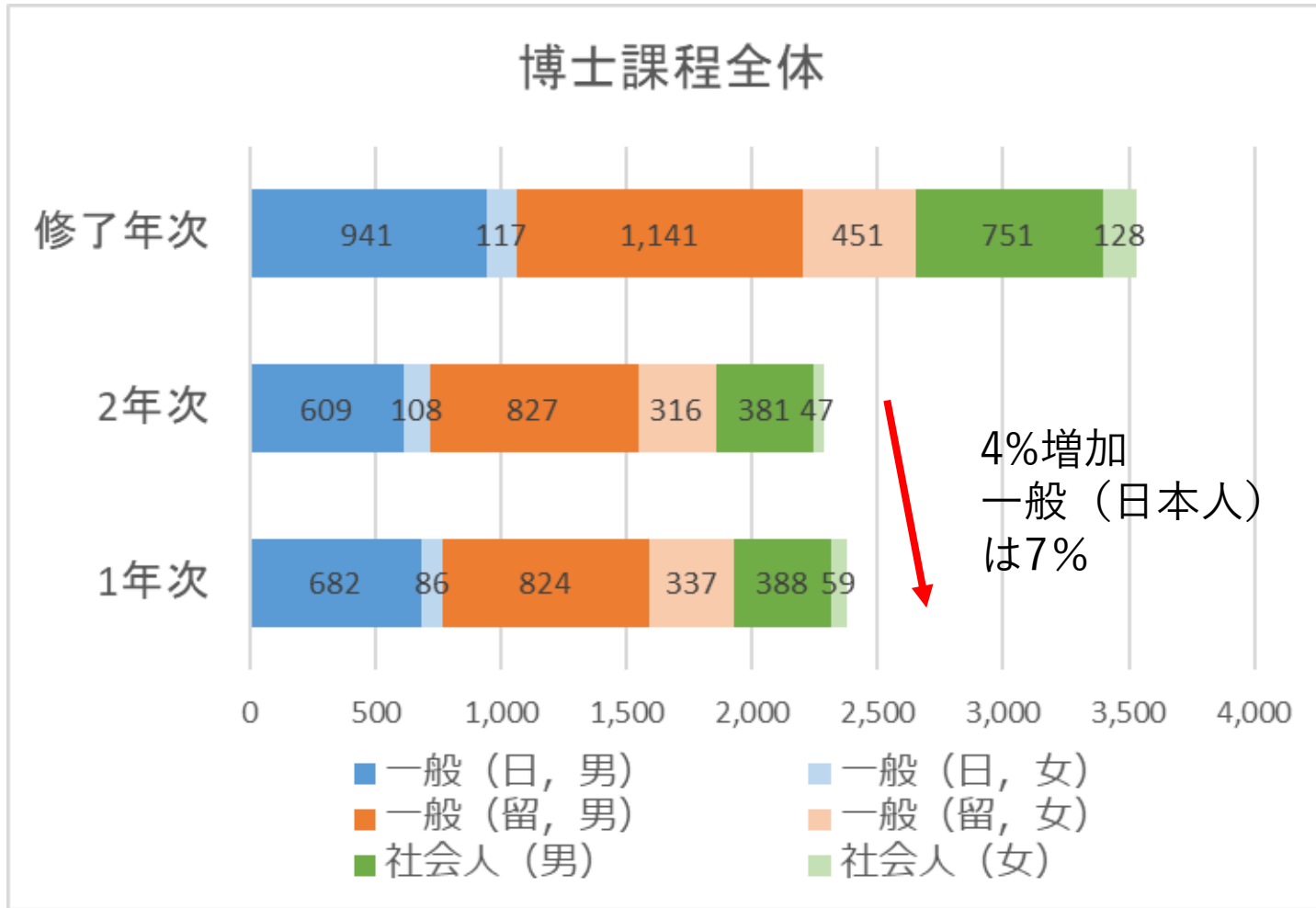
学部入学生を**100**とすると 修士入学生は**130** 博士入学生は**32**



27研究科の合計値
在籍者は2023年5月1日現在の各学年合計
入学修了退学就職等は2022年度の合計

2023年八大学工学系連合会学生動態調査より

*東京大学では工学部への進学数
**卒業数の内進学した者 / 学内からの進学者数



- 一般学生：31%
- 留学生：48%
- 社会人：21%

学部入学生を**100**とすると
留学生を除く博士後期課程
入学生は**17**

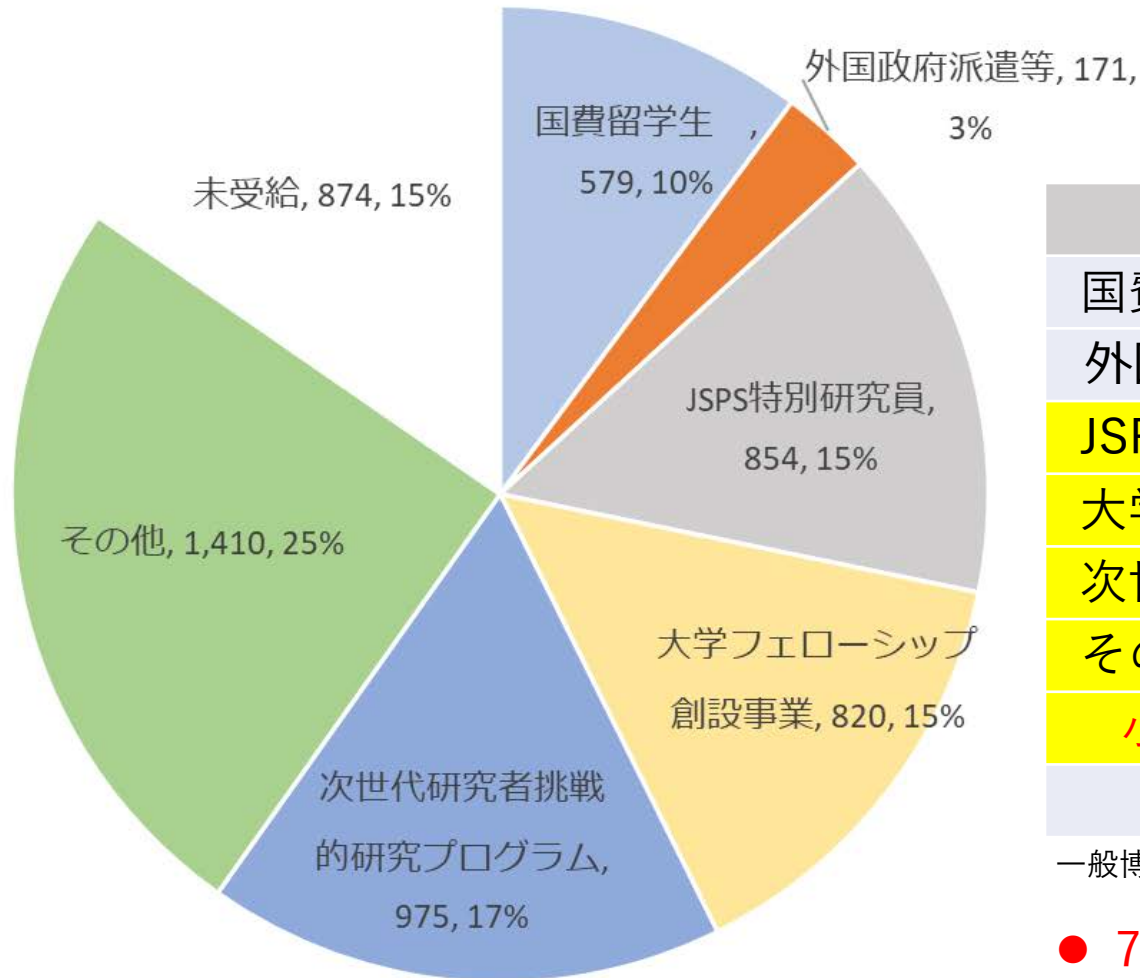
注) 修了年次が多いのは、留年生が含まれることも一因として考えられる。

経済的支援（生活費）

支援機関	名称	支援額	支援期間	備考
国（日本学術振興会 JSPS）	特別研究員制度（DC1, DC2）	20万円（月額） 240万円（年額）	3年間（DC1） 2年間（DC2）	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究奨励金の支給 ● 研究費あり 100万円程度
国（科学技術振興機構 JST）	SPRINGプログラム	18万円（月額） 216万円（年額）	3年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究奨励費の支給 ● 進学前採用枠あり ● 研究費あり 40万円/年 ● キャリア支援あり
国（科学技術振興機構 JST）	次世代AI人材育成プログラム（BOOST）	25万円（月額） 300万円（年額）	3年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究奨励費の支給 ● 進学前採用枠あり ● 研究費あり 90万円/年 ● キャリア支援あり
国（日本学生支援機構奨学金 JASSO）	第一種（無利息） 第二種（利息付）	8～12.2万円(第一種)、5～15万(第二種)（月額）	3年間	<ul style="list-style-type: none"> ● 返還義務あり（第一種は約3割が全学あるいは半額の免除制度あり）
大学	Teaching Assistant（TA）、Research Assistant（RA）等	時給 1400円～2800円	随時	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用による給与の支給
民間団体、地方公共団体				

博士課程学生への経済的支援の取組み

● 受給がないと考えられる過年度生を除いた場合



在籍年次	人数
一般, 1年次 (社会人を除く)	1,929
一般, 2年次 (社会人を除く)	1,860
一般, 3年次, 推定 (社会人を除く)	1,894
計	5,683

経済支援名称	人数	支援割合
国費留学生	579	10.2 %
外国政府派遣等	171	3.0 %
JSPS特別研究員 (国)	854	15.0 %
大学フェロシップ創設事業 (国)	820	14.4 %
次世代研究者挑戦的研究プログラム (国)	975	17.2 %
その他 (各大学の取り組み)	1,410	24.8 %
小計 (国費留学生、政府派遣を除く)	4,059	71.4 %
計	4,809	84.6 %

一般博士課程学生数で過年度生を除いた場合 (受給者は延べ人数)

- 71%の学生(国費留学生、外国政府派遣を除く)が何らかの経済的支援を得ている。
- 85%の学生が経済的支援を得ている。

経済的支援（生活費）

支援機関	名称	支援額（年額）	支援期間	備考
大学	入学料免除	28万2千円	入学時	<ul style="list-style-type: none">● 経済的な条件あり● 半学免除あり
大学	授業料免除	約54万円	各期（前期、後期）	<ul style="list-style-type: none">● 経済的な条件あり● 半学免除あり● 特別研究員制度は授業料免除となる場合あり● SPRINGプログラム採用者には授業料免除（半額あるいは全額）となる場合あり● 次世代AIプログラム採用者には授業料免除（半額あるいは全額）となる場合あり

経済的支援を得るための申請の流れ

入学前

- 3月 民間団体等奨学金申請
授業料免除前期分申請
入学料免除・徴収猶予申請
入学手続

- 4月 学生支援機構奨学金申請
- 5月 留学生チューターに採用される
- 6月 学生支援機構奨学金採用決定

修士1回生

- 9月 授業料免除後期分申請
- 10月 OAに採用される
- 12月 学生支援機構奨学金継続願提出
- 1月
- 2月 日本学術振興会特別研究員募集要項公表
- 3月 機構SPRING/次世代AIプログラム(進学前採用枠)申請
民間団体等奨学金申請
授業料免除前期分申請

修士課程学生の年間スケジュールの一例

修士2回生

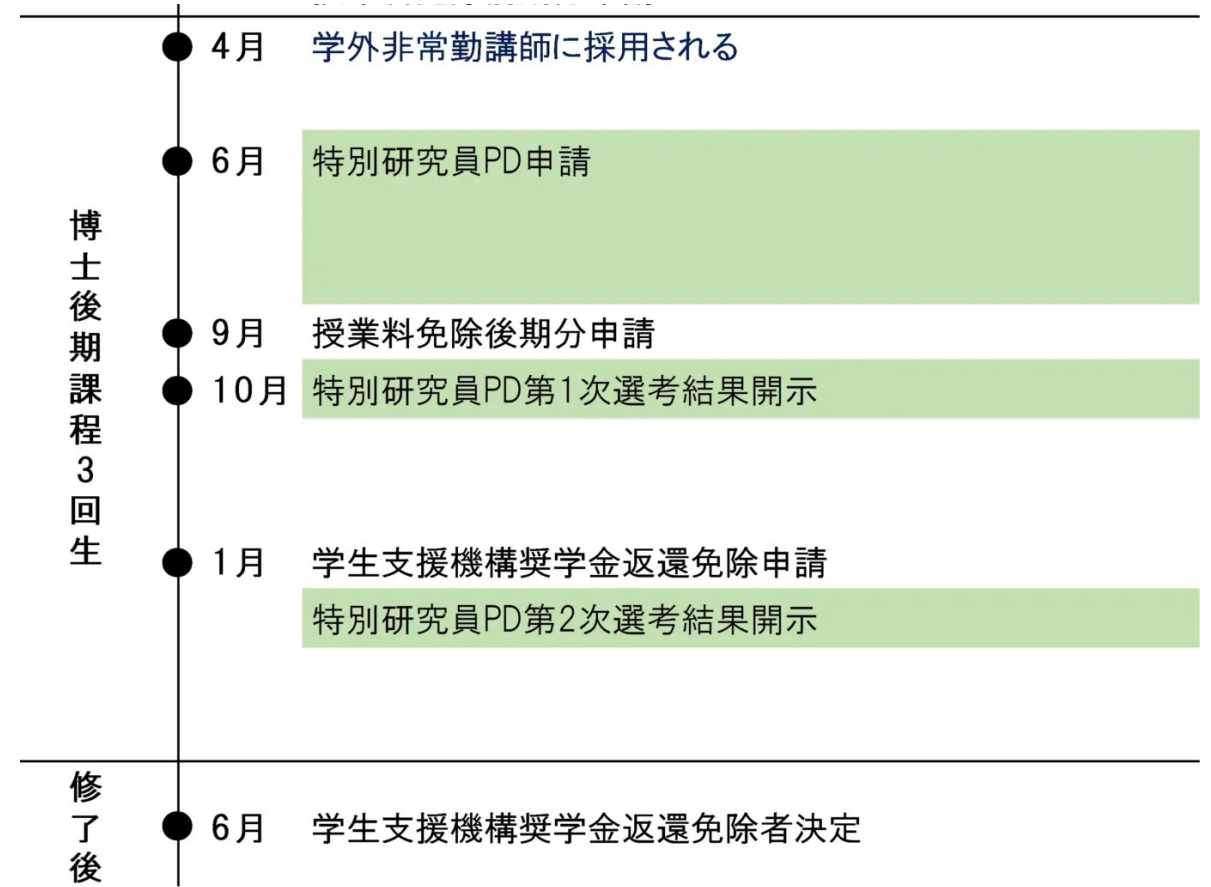
- 4月 TAに採用される
- 6月 機構SPRING/次世代AIプログラム(進学前採用枠)結果開示
日本学術振興会特別研究員DC1申請
- 9月 授業料免除後期分申請
- 10月 特別研究員DC1第1次選考結果開示
- 1月 学生支援機構奨学金返還免除申請
特別研究員DC1第2次選考結果開示
- 3月 機構SPRING/次世代AIプログラム(通常枠)申請
- 6月 学生支援機構奨学金返還免除者決定

修了後

経済的支援を得るための申請の流れ



博士後期課程学生の年間スケジュールの一例



経済的支援の併給について（参考）

	大学院教育支援機構 SPRING/次世代AIプログラム	大学院教育支援機構企業寄附奨学制度	日本学術振興会特別研究員制度（学振）	TA・RA・OA・RF・TAS	授業料免除・入学料免除	日本学生支援機構奨学金	地方公共団体・民間団体奨学金
大学院教育支援機構 SPRING/次世代AIプログラム		○	×	○	○	貸与○ 返還免除×	△
大学院教育支援機構企業寄附奨学制度	○		×	○	○	○	△
日本学術振興会特別研究員制度（学振）	×	×		○	○	×	△
TA・RA・OA・RF・TAS	○	○	○		○	○	○
授業料免除・入学料免除	○	○	○	○		○	○
日本学生支援機構奨学金	貸与○ 返還免除×	○	×	○	○		△
地方公共団体・民間団体奨学金	△	△	△	○	○	△	

- 経済的支援を複数、受けることが可能です。
- 国からの支援とTAやRA等の大学での雇用による給与、さらには授業料免除を同時に受けることが可能です。
- 仮にSPRINGプログラムとして18万円（月額）、RAとして10万（月額）、授業料半額免除27万円（年額）の支援を受けることができれば、月額30万円の支援を受けることになります。
- 日本の大手企業の博士学生の初任給に相当する金額となります。

○併給可 ×併給不可 △奨学金による

京都大学大学院情報サイトより

研究費支援

- 研究費（国、大学、民間等の支援団体等）
 - ✓ 特別研究員制度(JSPS)：100万円程度
 - ✓ SPRINGプログラム(JST)：40万円程度
 - ✓ 次世代AI人材育成プログラム(JST)：90万円程度
- 国際会議参加（大学、民間等の支援団体等）
 - ✓ 大学研究室での支援
 - ✓ 卒業生による寄付金、
 - ✓ 民間団体による様々な海外渡航支援プログラム
- 留学（国、大学、民間等の支援団体等）
 - ✓ 若手研究者海外挑戦プログラム（日本学術振興会）：渡航費と3か月から1年間の滞在費（100～140万円）
 - ✓ 馬詰研究奨励賞（京大工学研究科）：年間17名（一人100万円）の短期留学（3か月程度）を寄付金で支援するプログラム



生活支援



学生総合支援機構 学生相談部門

学生相談センター

Agency for Student Support
and Disability Resources
Student Support Center



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

大学生活には 悩みがつきもの

人間関係……

家族関係……

自分の性格って……？

性の話って……

研究にやる気が出ない……

気持ちが落ち込む……

研究室内の対人関係が……

進路を変えるか……？

人生の希望って……？



ぜひ、相談にきてみてください。

学生相談センターでは、
京都大学の学生の皆さんの、
学生生活上のさまざまな悩みの相談に
応じています。

経験豊富な専門家が
皆さんをお待ちしています。
相談員は、
臨床心理士や公認心理師、医師、キャ
リアコンサルタントなどの資格者です。



アクセス



■ 吉田相談室・
留学生相談室
〒606-8501
京都市左京区吉田本町
本部構内16番建物
教育推進・学生支援部棟
2階



■ 吉田南相談室
〒606-8501
京都市左京区吉田
二本松町 楽友会館内
吉田南構内96番建物1階



■ 北部相談室
〒606-8502
京都市左京区北白川
追分町
旧演習林事務室内
北部構内15番建物



■ 桂相談室
〒615-8530
京都市西京区京都大学
桂
船井交流センター3階
桂キャンパスBクラスター
12番建物3階



■ 宇治相談室・
宇治相談室内こころの保健室
〒611-0011
宇治市五ヶ庄
京都大学宇治キャン
パス 宇治生協会館2階
宇治キャンパス76番建物

発行

■ 京都大学学生総合支援機構 学生相談部門
学生相談センター

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

<https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/ssc/>

2024年3月 発行

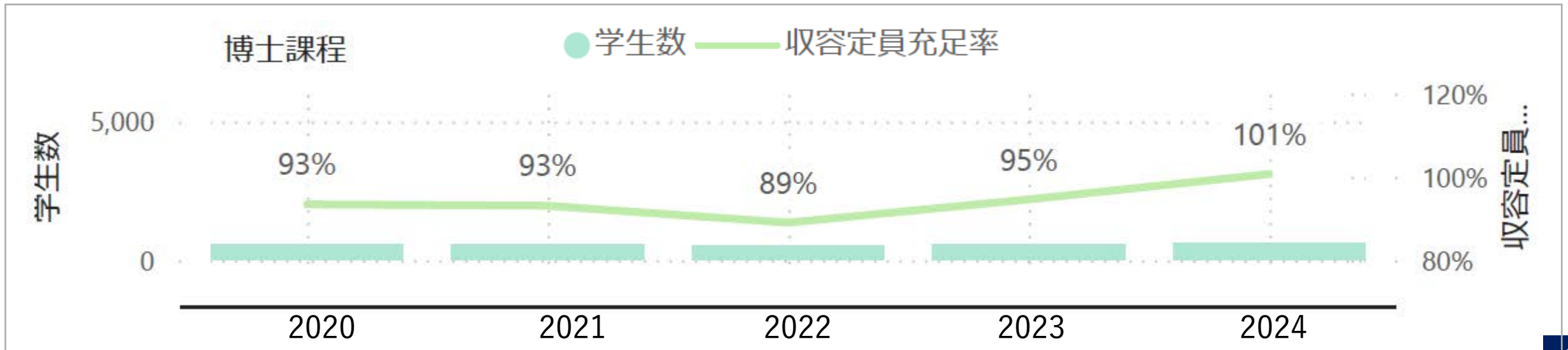
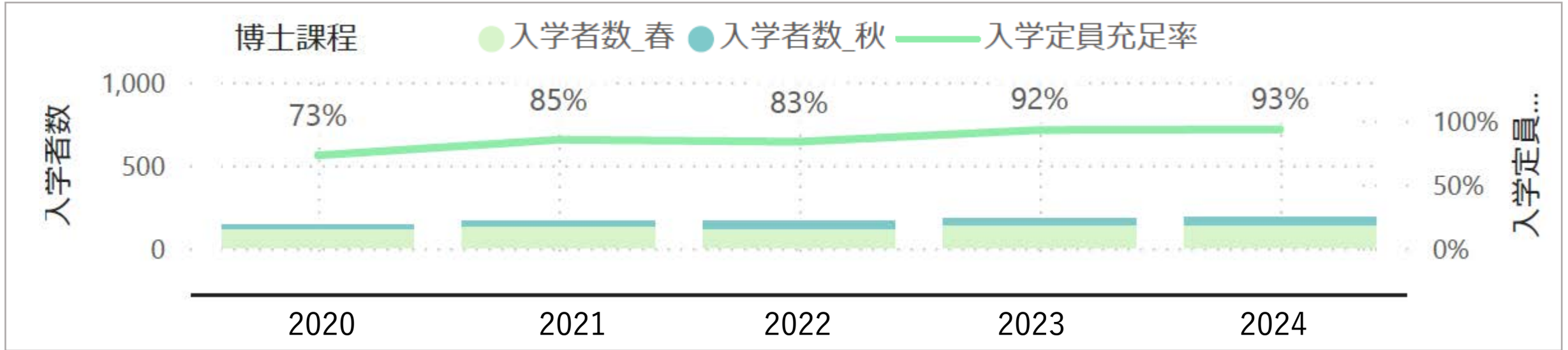
就職支援

- 研究室を通じた就職支援
- 研究インターンシップ
- キャリアサポートセンター



京都大学の例

博士後期課程の進学率（京大工学研究科）



博士後期課程で学ぶ皆さんに期待すること

- 気候変動により水害発生 の 頻度・強度は大きくなり、我々の生活は脅かされます。それにどう対処するか。
- 高齢化は人だけでなく我々の生活を支えるインフラ設備も老朽化します。それにどう対処するか。
- 社会の課題は複雑です。課題を解決するためには、専門分野を極めた博士学位を持つ優秀な人々が必要です。
- 社会の課題は複雑です。専門分野以外にも広い関心と知識をもつ優秀な人々が必要です。
- 社会課題の解決を先導し、世界で活躍する人々が必要です。ぜひ博士課程に進学してください。

まとめ

令和3年度から博士後期課程学生に対する支援が大幅に拡充されています。留学生、社会人を除いた修士課程からの博士後期課程進学者は約30,000名です。政府は生活費相当の支援を拡充し、それらの博士学生の半数以上に、年額180万円以上の公的支援を実施しています。

さらに、八大学工学系で学ぶ博士学生は、7割以上の学生が公的な支援を得ています。

新たな科学技術の発展の担い手である博士学生が中心となって活躍する社会となることにより、日本は発展します。今後とも博士学生を支援する制度は充実していくでしょう。ぜひ、こうした制度を用いて、博士後期課程に進学し、博士学位を得て、社会の成長・発展の担い手となっていただきたいと思います。